

令和 年 月 日

「学認 LoA1 認定プログラム」における審査手続きについて

学術認証運営委員会委員長
学術認証運営委員会トラスト作業部会主査

「学認 LoA1 認定プログラム」の実施にあたり、学術認証運営委員会委員長と学術認証運営委員会トラスト作業部会主査の両者は、その審査手続きについて以下のとおり了解する。学術認証運営委員会委員長は、上の審査を実施するにあたり、審査人の独立性を保証することを内外に文書で宣言する独立性保証書（別紙 1）を作成する。

なお、学認事務局は各項の終了日時を文書に記録する。

1. 申請機関から学術認証運営委員会（以下「委員会」という。）に申請書（別紙 2）が提出される。
2. 委員会は、審査指示書（別紙 3）を直ちにトラスト作業部会（以下「作業部会」という。）に発行し、審査の実施を指示する。
3. 作業部会は、第 2 項の指示を受け、Kantara Initiative から予め定められた指定審査人の中から審査人を指名し、その人選結果を委員会に報告書（別紙 4）として提出する。審査人は複数指名することができる。
4. 審査人は、申請機関に対し、目的、権限、期限、基本的な審査手続きを記述した審査実施書（別紙 5）を送付し、審査を実施する。
5. 審査人は、審査実施後遅滞なく作業部会に審査報告書（別紙 6）を提出する。作業部会は、報告を受けてそれを承認し、委員会に報告する。
6. 委員会は、報告を受け、Kantara に認定準備書（別紙 7）を提出する。
7. 委員会は、Kantara の承認を受け、申請機関に承認書（別紙 8）を交付する。

以上

別紙1 独立性保証書指定審査人に交付する（2年を限度。任命ごとに）

令和 年 月 日

学術認証運営委員会委員 各位

学術認証運営委員会委員長

〇〇 〇〇

学術認証運営委員会トラスト作業部会指定審査人の独立性・客観性の保証について

「学認 LoA1 認定プログラム」の審査を実施するにあたり、審査人の独立性を保証するため、下記のとおり指示する。

記

本状の目的：

「学認 LoA1 認定プログラム」に必要となる Kantara Initiative の定める保証レベル審査において、トラスト作業部会が指名する審査人の独立性を保証すること。

本状の背景：

「学認 LoA1 認定プログラム」に必要となる Kantara Initiative の定める保証レベル審査をするにあたり、実際の審査をトラスト作業部会が指名する審査人が行うことになった。

指示：

学術認証運営委員会とトラスト作業部会は、審査人による別紙宣言書に留意し、審査人が独立性、客観性をもって行動することを尊重すること。

以上

学術認証運営委員会トラスト作業部会の指名により「学認 LoA1 認定プログラム」に必要な Kantara Initiative の定める保証レベル審査を担当する審査人は、各々の審査において、自らに課せられた職業倫理に従い、審査指示書にしたがって厳正に審査をすることを求められます。

審査人は、上、確認し、審査に求められる技術的倫理的な要請に従い、独立性と客観性を満たしたうえで審査を行うことを宣言します。

令和 年 月 日

指定審査人：
(自署)

別紙2

申請書/Application Form

令和 年 月 日

学術認証運営委員会 御中

申請者 (IdP 運用責任者) (印)

「学認 LoA1 認定プログラム」受審について (申請)

「学認 LoA1 認定プログラム」について、審査についての規程と手続きを理解したうえで、以下のとおり申請します。

記

内容：学認 IdP 保証レベル1 認定 (Kantara Assurance Level 1 を含む)

以上

(以下事務局記入)

受付番号：

受付： 年 月 日

審査指示： 年 月 日

審査終了： 年 月 日

決定： 年 月 日

別紙3

審査指示書 Appointment Letter

令和 年 月 日

学術認証運営委員会トラスト作業部会 御中

学術認証運営委員会

「学認 LoA1 認定プログラム」にかかる審査について

以下のとおり、審査の実施を指示する。

記

目的 (Objective)

受付番号 _____ で申請のあった _____ (大学名) _____ の IdP に対する学認 IdP 保証
レベル 1 認定

内容 (Scope)

1. 学認 IdP 保証レベル 1 (Kantara Assurance Level 1 を含む) の認定に必要な事項の準拠性審査をおこなうこと。
2. 学術認証運営委員会、および、同運用作業部会・トラスト作業部会・図書館系サービス作業部会の持つ資料を参照可とする。
3. 必要に応じて、IdP 運用責任者 / 担当者と面談を行うことを可とする。
4. 留保付きの意思表示を行わないこと。

期限

本状発行から 3 か月とする。

別紙 4
指定審査人選定書

令和 年 月 日
学術認証運営委員会 トラスト作業部会決定

記

令和 年 月 日付 受付番号 で申請のあった (大学名) の IdP に対する学認 IdP 保証レベル 1 認定に必要な事項の準拠性審査について、以下の者に審査を担当させる。

(指定審査人)

以上

別紙 5

審査実施書

令和 年 月 日

〇〇大学 IdP 運用責任者 / 担当者 殿

学術認証運営委員会トラスト作業部会

指定審査人 XXXXX

「学認 LoA1 認定プログラム」にかかる作業の実施について

年 月 日 付で申請のあった、「学認 LoA1 認定プログラム」による学認 IdP 保証レベル 1 の認定について、トラスト作業部会から指名を受け、以下の要領で審査を行いますのでご協力願います。

記

目的：

〇〇大学 IdP の学認 IdP 保証レベル 1（Kantara Assurance Level 1 を含む）の認定に係る審査

内容：

1. 審査は Kantara IAF 1400 中の AL1 への準拠性を基本に行います。
2. 〇〇大学が学認に提出した資料を学術認証運営委員会の了承のもとで参照します。
3. 〇〇大学が一般に公開していない情報のうち、審査に必要と判断したものについては開示を求めることがあります。この情報の扱いについては、国家公務員法（昭和 22 年 10 月 21 日法律第 120 号）第 100 条に規定される秘密保持義務と同等の義務が適用されることを文書で確認します。
4. 必要に応じて IdP 運用責任者 / 担当者への面談を行います。

以上

別紙 6

審査報告書

令和 年 月 日

学術認証運営委員会トラスト作業部会 御中

学術認証運営委員会トラスト作業部会

指定審査人 XXXX

審査報告書

受付番号 により〇〇大学から申請のあった「学認 LoA1 認定プログラム」による学認 IdP 保証レベル 1 認定の結果について、以下のとおり報告します。

記

審査結果 (可 / 不可)

添付書類 個別審査項目の評価

以上

別紙 7
認定準備書

Date:

To: Kantara Review Board

From: GakuNin

We, GakuNin, report that the IdP _____ fulfils the service criteria for Assurance Level 1.

Attached: Assessment Report (In Japanese with English translation)

別紙 8
承認書

令和 年 月 日

〇〇大学 IdP 運用責任者 殿

学術認証運営委員会 委員長

〇〇 〇〇

「学認 LoA1 認定プログラム」にかかる審査結果について（通知）

年 月 日付で申請のあった「学認 LoA1 認定プログラム」による学認 IdP 保証レベル 1 の認定について、審査の結果、以下のとおり判定いたしましたので通知します。

記

審 査 結 果 (可 / 不可)

以上

添付文書：Kantara Assurance Level 1 認定書